

～ セーフティCar にばる石川2009 ～

石川運輸支局

「自動車点検整備推進運動」の一環として、10月4日（日）、金沢市内の石川県産業展示館3号館で開催された石川県主催の「第37回石川の技能まつり」に参加し、「セーフティCar にばる石川2009」と名付けたイベント活動を行いました。



広い体育館のような建物の中に18m×10mほどのエリアを頂き、電気自動車とCNG車、消耗品等の展示のほか、なんでも相談コーナー、自動車検査員会、女性整備士会のスタッフによる軽自動車を用いた点検教室、アンケートに答えての抽選会などを設けました。

「石川の技能まつり」は石川県の産業振興に寄与することを目的として毎年開催されているもので、各職種団体の紹介や技能コンクール、来場者の体験・参加型のコーナーなどが設置され、例年多数の入場者があります。今年も2万人以上が訪れ、開場とともに、当ブースは抽選会や風船を目当てにした家族連れなどでたくさんの人だかりができました。

動物型の風船作りが間に合わず、行列が20人以上も出来るほどで、午前9時から午後3時までの予定でしたが、600枚以上用意したアンケート用紙も底をつき、予定を早めて終了しました。

定期点検は実施したりしなかったりというアンケートの回答が結構ありましたが、このようなイベントを通じて、自動車ユーザーに‘点検整備’が広がってゆくことを期待しています。

また、エコカー展示の傍らにおいては、より多くの方にエコドライブについての意識を高めていただくという趣旨から、アンケートに答えていただいた結果を基にエコドライブについての診断を行うコーナーも設けました。結果的に40名以上の方の診断を行いました。エコドライブを心掛けることにより得られる燃料費節約効果等を説明したところ、「思ったよりも節約効果が大きいので驚いた」、「今後はエコドライブについて意識しながら運転したい」といった感想があり、具体的な数字を示すことによるアピール効果を実感することができました。エコドライブの実践については、今後も機会を捉えてアピールしていきたいと思っております。

